

放課後等デイサービス事業所における評価結果（公表）

公表：令和5年 2月 1日 事業所名 時のひかり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・敷地内のサービス付高齢者向け住宅内の屋上やシアタールームなど、共有スペースも活用している。	
	②	職員の配置数は適切である	5	0	・医療的ケア区分基本報酬算定の看護師配置の基準を満たしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	・床素材をクッション性の高いものにしてしている。 ・柱等に保護シートを設置している。 ・玄関から段差がなく車いすのまま入れる。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	・マンダラートモニタリングシートにて毎月評価している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	・第三者への情報公表は行っている。	外部評価については今後実施していく予定である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・月二回の内部研修に加え、法定研修はもとより、それぞれの専門職種毎に研修を受けている。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・保護者との面談や相談支援事業所等の連携・情報共有を行い、スタッフ間で個別支援検討会を実施、個別支援計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・週ごとに療育計画を作成し、毎朝その日の活動プログラムを職員間で共有している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・季節の行事を取り入れている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	・個別に平日・休日のスケジュールを設定し、それに沿って実施している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・毎日朝礼にて確認している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0		

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	0	・新人研修の際にガイドラインの周知を徹底している。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・児童発達支援管理責任者及び担当看護師が参画している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	・送迎時に毎回担任及び担当看護師からの申し送りを受けている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	・診療情報提供書にて協力医がやり取りを行っている。また、変化があった際は看護師から協力医にその都度報告している。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	・担当の相談支援専門員を通じて情報共有を行っている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5		該当する利用児がいないため、まだ行っていない。今後必要な場合は行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・定期的に訪問したり、児童発達支援センター主催の研修に参加している。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		コロナ禍のため自粛している。今後は隣接する保育園との交流等を検討している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	5		設立間もないため参加していないが、今後参加を検討していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・送迎時の申し送りや連絡帳、電話での個別相談にて利用児の状況を共有している。 ・保護者会等で利用児の状況や課題について話し合いの機会を設けている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	・保護者からの電話相談等の際に、個別に助言等の支援を行っている。	
保護者への説明責	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に行っている。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	・年二回保護者会を開催し、情報共有の場を作っている。	

任等	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・苦情窓口及び第三者委員会を設置し、契約時に説明。事業所内に連絡先等を掲示している。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・二か月に一回、会報を発行し、さらに随時ホームページにて情報発信している。	
	㉕	個人情報に十分注意している	5	0	・職員に個人情報取り扱いについての研修を開催し、周知徹底している。	
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		コロナ禍のため自粛しているが、今後は実施を検討している。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	・職員に対しては新人研修時に、保護者に対しては契約時に説明を行い周知徹底している。	
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・年に二回避難訓練を実施している。	
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・年に二回虐待防止委員会及び勉強会を開催している。	
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		